

CAMPUS MAGAZINE

青森県立保健大学広報誌

2025
vol. 53



学長 吉池 信男

保健大学の使命は、「地域の皆さまの健やかな生活を支える人材の育成」です。この使命を果たすため、私たち教職員は、キャンパスで学ぶ学生の皆さんが夢を抱き、生き生きとした交流を楽しみながら学ぶ環境を提供し、自由に未来を描けるよう尽力しています。本誌を通じて、そんな学生の皆さんの姿を多くの方々にお伝えできることを、心より嬉しく思っております。



「私たちの使命」については、
こちらをご覧ください。

大学祭のお知らせ 10月11日(土)・12日(日)



大学祭実行委員長
看護学科 3年
清水さん

こんにちは。令和7年度の青森県立保健大学の大学祭実行委員長になりました看護学科3年清水です。この場をお借りして今年の大学祭についてお話させていただきます。

今年の大学祭のテーマは「学生生活短し進めよ保健大生」です。学生生活って何？と思われた方が多いと思います。厚生労働省の調査によりますと、令和7年3月までの大学卒業後の進路は98%が就職となっております。このことから、大学卒業後、ほとんどの生徒が「学生」という立場ではなく、大学生である期間が最後の学生生活であると言えます。大学生という短い期間にこの大学祭を楽しんで欲しいという思いを込めて「学生生活」という言葉を使い、このテーマといたしました。

今年の大学祭では青森公立大学の大学祭と手を組み、企画の交換を行う予定です。また、昨年度と同様に芸人のステージやビンゴ大会、ゲーム大会なども開催予定です。さらに、今年のスーパースタリックスとして「バブルサッカー」の計画を進めております。

今年も学生だけでなく、地域の方々にも楽しんでいただけるよう準備を進めております。当日は是非ご来場いただき楽しんでいただけたら幸いです。お待ちしております。



保護者等懇談会のお知らせ 10月11日(土)

在学生の保護者等の皆様を対象とした懇談会を開催いたします。皆様のご参加、お待ちしております。

■日時：令和7年10月11日（土）10時30分から12時00分まで

■内容：10：30～後援会長あいさつ、学生部長からの情報提供

10：40～学科長からの説明
(実習支援、講義の状況、就職・国家試験)

10：55～担当教員による個別面談（事前申込制）

※申込みは締め切りました。

学 科	建 物	場 所
看護学科	青森県立保健大学 教育研究A棟3階	A305教室
理学療法学科	青森県立保健大学 教育研究B棟2階	B201会議室
社会福祉学科		B203会議室
栄養学科		B202会議室

■上記会場をご自由に入退りいただけます。（個別面談を除く）
当日は大学祭を開催しています。

大学院CNSコースの紹介

令和8年度より、CNS（専門看護師）コース「がん看護」に加えて新たに「感染看護」「老年看護」の2つの専門分野を開設します（予定）。

詳しくは
こちらから→



御寄附のお願い

本学では、教育・研究・学生生活や施設整備に活用できる「一般基金」と、特定の目的を持つ「特定基金」を設置しています。特定基金には、本学学生や大学院生、東南アジアの外国人留学生との交流を通じアジアで活躍する栄養人材を育成するEYNAプロジェクトや、絵本を活用し保健医療福祉職の魅力を発信する事業があります。皆さまの暖かいご支援をよろしくお願いいたします。



↑御寄附は
こちらから

公式 Instagramフォロー のお願い

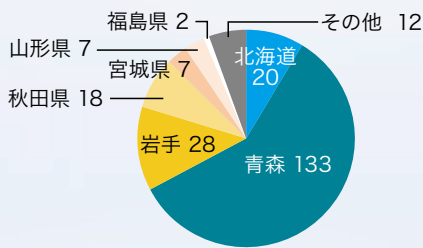
本学公式Instagramでは、イベント、授業風景、学生生活など、保健大学のリアルな日常を日々発信しています。学生による投稿もあり、多彩な視点からキャンパスの魅力をお届けしています。ぜひフォローして、本学の日常を身近に感じていただければ幸いです。

Instagramは
こちらから→





令和7年度入学者数(227名)



新入生への歓迎の言葉

看護学科 4年 岡本さん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。本学は講義や実習が多いため、大変に感じることもあるかもしれませんが、仲間と支え合いながら一緒に頑張っていきたいと思います。また、大学生という貴重な時間を活かし、たくさんの人と出会い、勉強以外にも様々な経験をしてほしいと思います。これからの4年間で皆さんにとって有意義で、かけがえのないものになることを心より願っています。

新入生メッセージ



看護学科 佐藤さん (青森県出身)

入学当初は新しい環境に戸惑い、不安に感じることも多くありました。今では仲間や先輩に助けられながら専門的な知識や技術を少しずつ身につけ、講義や演習を通して自分の成長を実感でき、楽しく学んでいます。



理学療法学科 小笠原さん (青森県出身)

1年前期は、他学科の仲間と地域に出て住民へインタビューをし、健康課題を学んだことが印象的でした。後期には登山を行い、体を動かすことの大切さを学ぶのが楽しみです。不安もありますが、先生や友達の手助けで毎日楽しいです。



社会福祉学科 渡邊さん (福島県出身)

本校の理念である、ヒューマンケアを実践し国際社会の発展に貢献できる人材となるべく学校推薦型選抜で入学しました。大学での日々は、私に多くの学びと新しい視点を与えてくれます。大学の友人たちや先生方も個性豊かで、楽しい学生生活を送れています。



栄養学科 天間さん (青森県出身)

栄養学科に入学して半年が過ぎました。受験を振り返ると、本学や栄養学科が掲げるポリシーや、大学でどのようなことを研究したいかなど、具体的な目標を面接で説明できたことは、心強かったと思います。大学生活では、勉強とサークル・アルバイトの両立もできるため、安心して学校生活を送れています。また、友達も気の合う人が多く、テスト勉強と一緒にしたり、分からないところを教え合ったりして、充実した学校生活を過ごすことができています。4年生では国家試験の勉強もありますが、管理栄養士を目指して頑張りたいと思います。

在学生メッセージ



看護学科 4年 吹田さん

1・2年生で基礎知識や技術を学び、3・4年生からは本格的な実習が始まりました。4年間を通して看護の楽しさを実感するとともに、患者さんとの関わりや、学生・先生方のおかげで多くのことを学ぶことができました。これらの経験を生かし、就職後も看護師として頑張ります。



社会福祉学科 4年 政木さん

社会福祉学科では、講義や演習、実習を通して、福祉に関する実践的な知識や技術を身に付けることができます。大変なこともあります。友人や先生のサポートのおかげで楽しく充実した大学生活を送ることができています。「誰かの役に立ちたい」という思いを持っている方におすすめの学科です！



理学療法学科 4年 新井さん

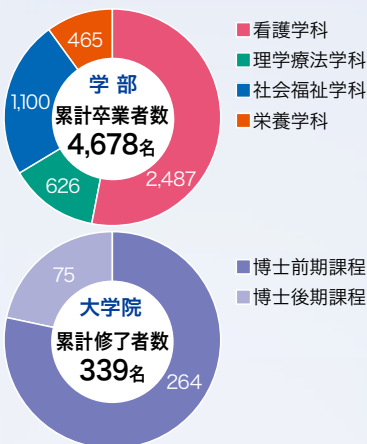
1-2年で座学を中心に専門的な知識を学び、3年次からは学外での臨床実習で臨床技術を身に付けることができます。実習を終えてからも就職活動や卒業研究、国家試験対策などで充実しています。これまでと同じく、仲間と支え合いながら大学生活を楽しみ尽くしたいです。



栄養学科 4年 石沢さん

栄養学科では、講義や実験・実習等を通して、同級生や学内外の先生方に支えられながら食や栄養に関する知識と現場での経験を身に付けることができます。卒業研究や国試勉強などの学業に励みながらも、趣味や友人との交流、アルバイトでの経験を大切にしたい残り的大学生生活を悔いなく過ごしていきたいと思います。

累計卒業生・修了者数



本学大学院 (博士前期課程) への進学者数 (過去5年間)

ストレート進学者メッセージ 栄養学科 羽深さん



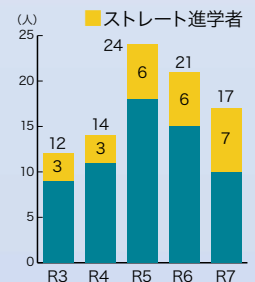
学生時代に抱いた関心にさらに深めたいと思い、大学院への進学を決めました。大学院では、講義やディスカッションを通じて、専門的な学びの奥深さを実感しながら、物事を多角的に考える力が養われていると感じています。また、院生同士で励まし合い、良い刺激を受けながら共に成長できることも魅力の一つです。未熟ながらも、自分にとって、他のだれかにとっても、意義のある研究を実施できるよう努力していきたいと思います。



担当教員 栄養学科 教授 鹿内 彩子

学部生の時の授業や実習を通して、教員も学生もお互いの人となりや教員の研究分野などがわかっていくため、自分の将来や学びと研究の結びつきをイメージしやすく、大学院進学を考えた時の材料の一つになるのではないかと思います。

大学院では様々な背景を持つ院生たちと共に高度な専門知識を学修し、広い視野を得て自分の研究分野/現場に還元できる力を身につけてほしいと思っています。



グローバルヘルスプログラム

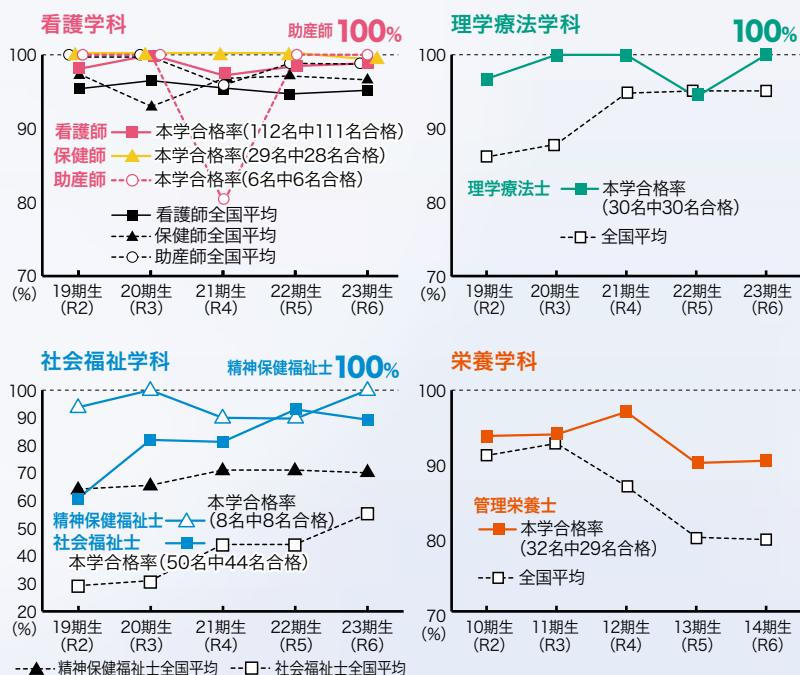


グローバルヘルスプログラム 履修生 看護学科 1年 鈴木さん

私は、小学生の頃JICAの施設見学で世界では自分と同じような子供がたくさん亡くなり、常に命の危険と隣り合わせの生活を強いられているという悲惨さを学びました。その経験から「看護」という立場で、また一人の人間としてそのような人々のため

にできることは何かと考え、本学入学後グローバルヘルスプログラム (GHP) 履修を決断しました。これからGHPの活動を通して国際的な視野を広げ、将来文化や国籍を超えたヒューマンケアを行う専門職になれる力を身につけていきたいです。

国家試験合格率



学科ごとの国家試験対策の取組内容

看護学科

低学年から意識してもらえよう、年2回の国家試験対策ガイダンスを実施し、先輩からの励ましの声や効果的学習法も紹介しています。また、国家試験対策学生委員をサポートし、模擬試験や補講、学習相談会の実施、学習環境の整備を行っています。

理学療法学科

全学生に対して個別に担当教員がつき、指導しています。また、学科内に対策委員会を設け、4年生までの成績に応じて学習内容を考案するとともに、定期的な面談を行い、模試結果などから、各学生に適した細やかな課題対策を講じています。

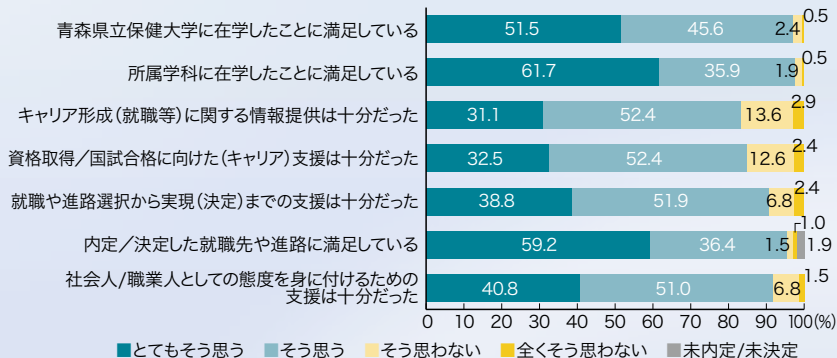
社会福祉学科

自習室には、全科目の参考書や過去問題集、受験用ワークブックなどを備え、受験勉強に集中しやすい環境を整えています。さらに、卒業生による受験体験報告会を開催し、学習意欲や受験への動機づけを高めています。合格率向上を目的に、模擬試験の受験を推奨するとともに、Web講座や学習アプリの紹介、教員による受験対策講座なども実施しています。

栄養学科

近年の管理栄養士国家試験の出題傾向を分析して授業をアップデートしています。また、4年次4月に各ゼミから「国試対策メンバー」を選出し、国試対策教員とゼミ担当教員が協同してサポートしながら、学生主体で国家試験対策を進めています。

学部卒業生の満足度 (令和6年度卒業生)



学部卒業生の就職率

令和6年度学部卒業生の就職率
(令和7年5月1日現在)



就職相談囃託員 小堀 孝志

キャリア開発センターでは、学生が主体的にキャリアをデザインし、自分らしく活躍できる場を選ぶためのサポートをしています。一人ひとりの疑問や不安に、教員や就職相談員が親身に対応し、就職活動へのモチベーションを高める手助けをしています。また、求人情報や就活体験談等、どこからでも検索・閲覧できる学生専用サイトを運用しています。その他、就職活動を支援する各種行事や、オンライン面接等に対応する個別ブース環境を整えるなど、きめ細やかに学生をバックアップしています。

学生部長メッセージ 児玉 寛子



今年度も後期が始まりました。後期は学内講義に加えて学外実習も多く、4年生は最後の4学科合同の必修科目があり、それが終わるといよいよ国家試験受験モードに入ります。頭も体もフル回転させて頑張る学生たちのため、安全安心な環境は大学の重要な役割です。学生支援セミナーでは「ブラックアルバイト」をテーマに開催しました。また悩みや困りごとへの個別相談も強化、継続しています。皆様のご理解とご協力を引き続き、どうかよろしくお願いいたします。

卒業生メッセージ (就職1年目)

看護学科 澤口 さん (青森県内就職・病院/看護師)



私は現在、青森県立中央病院8階西病棟(血液内科)で勤務し、血液疾患を患う患者さんへの看護や化学療法について先輩方や患者さんから、毎日沢山の事を学んでいます。学生の皆さんも日々の勉強や実習など大変だと思いますが、学生時代にしかできない体験を大切に頑張ってください!応援しています!

理学療法学科 工藤 さん (青森県内就職・病院/理学療法士)



私は現在、津軽保健生活協同組合健生病院に勤務しています。患者様の退院後の生活を考えながらプログラムを工夫することに苦戦していますが、先輩方からのご指導を頂き、日々学んでいます。大学生活は忙しいことも多いと思いますが、休む時はしっかり休んで、何でも楽しみながら一緒に頑張りましょう!

社会福祉学科 山谷 さん (青森県内就職・病院/社会福祉士)



私は青森県立中央病院医療連携部に所属し、退院支援として転院調整や医療費・介護保険の相談対応等の業務に従事しています。不慣れな点ばかりですが、先輩方にご指導いただきながら、目の前の患者さまご家族さまと向き合えるよう励んでおります。

栄養学科 四戸 さん (青森県内就職・公務員/管理栄養士)



私は青森県職員として働いています。行政の業務の中では、管理栄養士や他の職種の方々と関わる場合があります。大学で学んだ知識だけでなく、行政の事務に必要なさまざまな制度を覚えながら仕事をするのは大変ですが、新たな知識を得る機会だと考え、日々励んでいます。在校生の皆さん、専攻している知識以外にも情報を取り入れ、広い視野で進路などを考えてみるとよいと思います。応援しています!



グローバルヘルスプログラム リーダー 栄養学科 教授 三好 美紀

2025年4月よりグローバルヘルスプログラム(GHP)が開始しました。GHPでは、Globalな広い視野をもち、Diversity&Inclusionの理念の下に様々な場においてヒューマンケアを実践できる人材育成を目指しています。総合教育科目および各学科の専門科目に加えて、GHPに必要な科目を履修し、

海外短期研修等に参加すると「GHP修了生」として認定されます。初年度は7名のGHP履修生(看護学科4名、理学療法学科1名、社会福祉学科1名、栄養学科1名)を迎えました。皆さん、それぞれのビジョンを持って授業および活動に積極的に取り組んでいます。

後援会からのお知らせ



後援会会長 福士 達也

日頃より、青森県立保健大学の教育・学生支援活動にご理解とあたたかいご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

本学では、学生一人ひとりが安心して学び、自分らしく成長していけるよう、さまざまな支援が日々行われています。後援会もその一翼を担い、大学と連携しながら、学生の学びや生活をそと支えてまいりました。

学生たちは、学びのなかで多くの出会いや経験を重ね、人間的にも大きく成長していきます。その過程を見守り、ときに背中を押すような存在であることが、私たち後援会の大切な役割だと感じています。

後援会では、学生たちが希望をもって前に進んでいけるよう、引き続き支援を続けてまいります。今後とも、温かく見守っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度青森県立保健大学後援会役員

役職名	役員氏名	学科	学年
会長	福士 達也	理学療法学科	4年
副会長(理事)	大友 夏美	社会福祉学科	4年
理事	高坂 五大	社会福祉学科	2年
理事	齊藤 久美	栄養学科	4年
理事	大里 洋志	看護学科	2年
理事	柿崎 真澄	理学療法学科	2年
理事	佐藤 大志	社会福祉学科	1年
監事	小田桐 芳江	看護学科	4年
監事	小形 比呂史	社会福祉学科	3年
顧問	児玉 寛子		

後援会 決算・予算

令和6年度 後援会決算書					令和7年度 後援会予算書				
(収入の部)					(収入の部)				
項 目	6年度予算(A)	6年度決算(B)	比較 (B-A)	摘 要	項 目	6年度予算(A)	7年度予算(B)	比較 (B-A)	摘 要
1 会費収入	12,090,000	12,060,000	△ 30,000	学部生11,350千円 (@50,000×227人) 編入生150千円 (@37,500×4人) 大学院生560千円 (@20,000×28人)	1 会費収入	12,090,000	12,100,000	10,000	学部生11,350千円 (@50,000×227人) 編入生150千円 (@37,500×4人) 大学院生600千円 (@20,000×30人)
2 前年度からの繰越金	38,013,207	38,013,207	0		2 前年度からの繰越金	38,013,207	41,323,699	3,310,492	
3 雑収入	429	19,636	19,207	預金利息19,628円+ H13 年大学祭助成費戻し入れ 8円	3 雑収入	429	19,636	19,207	預金利息(前年度実績)
合 計	50,103,636	50,092,843	△ 10,793		合 計	50,103,636	53,443,335	3,339,699	
(支出の部)					(支出の部)				
項 目	6年度予算(C)	6年度決算(D)	比較 (D-C)	摘 要	項 目	6年度予算(C)	7年度予算(D)	比較 (D-C)	摘 要
1 会議費	3,000	950	△ 2,050	総会旅費 950円	1 会議費	3,000	3,000	0	理事会・監事監査等出席に係る役員の交通費 @1千円×1人×3回
2 事務費	201,000	78,500	△ 122,500	残高証明書発行手数料 660円 新役員への発送費 1,400円 保護者懇談会案内送料 76,440円	2 事務費	201,000	181,000	△ 20,000	残高証明書発行手数料ほか 1千円 監査・理事会案内、 保護者懇談会開催案内発送料 80千円 後援会費振込用紙印刷代 100千円
3 事業費	12,444,000	8,679,694	△ 3,764,306		3 事業費	12,444,000	11,876,000	△ 568,000	
(1) サークル活動 助成費	2,110,000	1,162,396	△ 947,604	自治会活動助成費 92,050円 サークル助成費 1,154,346円 内訳 サークル活動助成費 780,000円 サークル特別補助金 714,000円 サークル活動助成費繰越金 △ 340,204円 振込手数料 550円 サークル活動特別補助金 戻し入れ △ 84,000円	(1) サークル活動 助成費	2,110,000	1,600,000	△ 510,000	自治会活動助成費 100千円 サークル助成費 3,450千円 (15千円×230人) (30千円×30団体) サークル特別助成費 (60千円×10団体) 600千円
(2) 大学祭等助成費	1,900,000	1,746,538	△ 153,462		(2) 大学祭等助成費	1,900,000	1,900,000	0	大学祭運営費(前年度同額)
(3) 会報誌作成費	250,000	106,336	△ 143,664		(3) 会報誌作成費	250,000	150,000	△ 100,000	
(4) 学生福利厚生費	3,750,000	1,985,900	△ 1,764,100	検査費(肝炎、新型コロナ、実習関係) 1,985,900円	(4) 学生福利厚生費	3,750,000	3,720,000	△ 30,000	検査費(肝炎、新型コロナ、実習関係) 3,750千円(4千円×学部生930人)
(5) 卒業関係・ 国家試験対策 関係助成費	3,870,000	3,263,682	△ 606,318	卒業(修了)年次研究等助成 2,323,990円 // 戻入れ △ 80,000円 卒業関連事業助成 1,135,550円 // 戻入れ △ 140,171円 修了関連事業助成 24,313円	(5) 卒業関係・ 国家試験対策 関係助成費	3,870,000	3,942,000	72,000	卒業年次研究等助成・卒業関連事業助成 3,450千円(15千円×230人) 修了年次研究等助成・修了関連事業助成 492千円(12千円×41人)
(6) 新入生研修費	480,000	379,970	△ 100,030		(6) 新入生研修費	480,000	480,000	0	新入生研修に係る助成費 お弁当ほか 480千円 (1.5千円×(新入生227人+上級生73人+ 教職員20人))
(7) その他	84,000	34,872	△ 49,128	大学院新入生交流会	(7) その他	84,000	84,000	0	大学院新入生交流会 1.2千円×(新入生等30人+教職員40人) 慶弔費など
4 予備費	52,000	10,000	△ 42,000	香典 10,000円	4 予備費	52,000	40,000	△ 12,000	
小 計	12,700,000	8,769,144	△ 3,930,856		小 計	12,700,000	12,100,000	△ 600,000	
1 次年度以降事業費	37,403,636	41,323,699	3,920,063		1 次年度以降事業費	37,403,636	41,343,335	3,939,699	
合 計	50,103,636	50,092,843	△ 10,793		合 計	50,103,636	53,443,335	3,339,699	
1 長期預り金	—	92,308	—	注) 使途不明口座解約金	注) 長期預り金は、令和5年4月20日に出金専用口座に入金したもので、 公立大学法人青森県立保健大学名義の使途不明口座を解約したことに伴う残金であり、 将来的に権利者から返還請求がなされた場合に柔軟に対応できるよう、 教務学生課所管の後援会の口座に長期預り金として入金した。				

※次年度への繰越金 41,323,699円(総収入 50,092,843円 - 総支出 8,769,144円)

大学から後援会へ 教務学生課長 大西 学

社会の分断や偏見が助長されるような動きも見受けられる昨今、本学では「D&I(多様性と包摂)」の考え方を尊重し、国際性や多様性の視点を取り入れたカリキュラムの展開などを通じて、多様な学生が互いの価値観を理解し、尊重し合いながら主体的に学び、成長できる環境づくりに努めております。

今後も、学生一人ひとりが安心して学べるよう支援してまいりますので、後援会の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学



〒030-8505

青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2000(代表)・FAX 017-765-2188 URL <https://www.auhw.ac.jp/>